

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ハーモニー幼稚園校舎建設計画」
引渡式**

2020年2月25日、ベリーズ県バーミュディアン・ランディング村において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハーモニー幼稚園校舎建設計画」の引渡式が開催されました。

窪田大使は、挨拶の中で、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、同園への新園舎の建設が実現したことをともに喜びたい、と述べました。日本政府はこうした自律的な努力を支援しており、教育インフラの提供は、ベリーズの次世代にとって最も価値のある投資であると考えているとした上で、今般の支援は、バーミュディアン・ランディング村の子供たちの幼児教育環境の向上に貢献するものであり、全ての地域の人々によって有効に活用されることを願っていると述べました。

ハーモニー幼稚園は、ベリーズ・リバー・ヴァレー地域唯一の幼児教育機関として2001年に設立されて以来、自前の校舎を所有せず、数度の移転を経て村の公民館で運営されてきました。しかし、公民館は幼稚園に適した設計ではないため、安全面や衛生面等で大きな問題を抱えていました。

このような状況を改善するため、今般、草の根・人間の安全保障無償資金協力で供与された108,353米ドルで、同幼稚園専用の新しい校舎が建設され安全対策強化のためのフェンスも設置されました。これによって、同幼稚園の教育環境が改善され、子供たちがより優れた環境のもとで学べるようになることが期待されています。

同引渡式には、マーヴィン・ケリーマン・ハーモニー幼稚園本部長他同町関係者、報道関係者など約60名が出席しました。

被供与団体のマーヴィン・ケリーマン・ハーモニー幼稚園本部長は、このような素晴らしい新校舎を寄贈いただき、園児が快適・安全な環境で教育を受ける機会を得ることは大きな喜びであるとし、ベリーズ全土で草の根を通して多くの支援を行っている日本政府、及び日本国民に心からの謝意を述べました。また、感謝の気持ちを示す最も良い方法はこの贈り物を誇りをもって大切に使用する事であり、園舎を常に良い状態に保ち、長年に渡り使用していきたいと述べました。



窪田大使によるスピーチ



マーヴィン・ケリーマン・ハーモニー幼稚園本部長によるスピーチ



供与園舎の前で行われたテープ・カット



式典の参加者



供与された園舎



供与されたフェンス